

2022 年

登録ランドスケープアーキテクト(RLA)資格認定試験

登録ランドスケープアーキテクト補(RLA補)資格認定試験

1 次試験（その2）問題用紙

注 意 事 項

- ① 本試験は、No. 1～No. 80 の 80 問で、解答時間は1時間 20 分(80 分)です。
- ② 問題は全問必須ですから、80 問すべて解答してください。なお、配点は1問1点で、80 点満点です。
- ③ 解答用紙(マークシート)に受験番号・氏名を記入し、受験番号欄は、該当番号もぬりつぶしてください。
- ④ 解答は、解答用紙(マークシート)に HB の鉛筆または芯が HB のシャープペンシルで記入してください。
- ⑤ 解答のぬりつぶし方は、解答用紙のぬりつぶし例を参照してください。
- ⑥ 当該問題番号の解答記入欄の正解と思う数字を1つぬりつぶしてください。
なお、正解は1問につき1つしかありませんので、2つ以上ぬりつぶした場合は正解としません。
- ⑦ 解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消してから訂正してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
- ⑧ この問題用紙の余白は、計算等に使用してもさしつかえありません。
ただし、解答用紙(マークシート)は、計算等に使用しないでください。
- ⑨ 試験終了後は、解答用紙(マークシート)を裏返して机の上に置いてください。
係員が回収するまでそのままでお待ちください。
- ⑩ この問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者に限り、持ち帰りを認めます。
途中退席した場合は、持ち帰ることはできません。

No.1

水生植物に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 浮標植物にはウキクサ (*Spirodela polyrhiza*) などがある
- ② 浮葉植物にはヒシ (*Trapa japonica*) などがある
- ③ 沈水植物にはマコモ (*Zizania latifolia*) などがある
- ④ 抽水植物にはカキツバタ (*Iris laevigata*) などがある

No.2

落葉広葉樹林の中に植栽する地被植物として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① シバザクラ (*Phlox subulata*)
- ② エビネ (*Calanthe discolor*)
- ③ オオバギボウシ (*Hosta montana*)
- ④ イカリソウ (*Epimedium grandiflorum*)

No.3

根系が浅根性の樹木として、**適切なもの**を下記から1つ選びなさい。

- ① モミノキ (*Abies firma*)
- ② ユリノキ (*Liriodendron tulipifera*)
- ③ カツラ (*Cercidiphyllum japonicum*)
- ④ アカシデ (*Carpinus laxiflora*)

No.4

サクラ類のうち八重の花が咲くものとして、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① オオシマザクラ (*Cerasus speciosa*)
- ② ソメイヨシノ (*Cerasus* × *yedoensis*)
- ③ カンヒザクラ (*Cerasus campanulata*)
- ④ ジュウガツザクラ (*Cerasus subhirtella*)

No.5

メタセコイア (*Metasequoia glyptostroboides*) に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 常緑性である
- ② 生きている化石と呼ばれる
- ③ 和名はアケボノスギである
- ④ 葉は対生である

No.6

紅葉する樹木として、**適切なもの**を下記から 1 つ選びなさい。

- ① *Pinus densiflora*
- ② *Ilex pedunculosa*
- ③ *Cinnamomum camphora*
- ④ *Acer palmatum*

No.7

秋から冬に花や実を楽しめる植物の組合せとして、**適切でないもの**を1つ選びなさい。

- ① ツリバナ (*Euonymus oxyphyllus*)、ヤブラン (*Liriope muscari*)
- ② マンリョウ (*Ardisia crenata*)、ホタルブクロ (*Campanula punctata*)
- ③ シコンノボタン (*Tibouchina urvilleana*)、サザンカ (*Camellia sasanqua*)
- ④ コムラサキ (*Callicarpa dichotoma*)、ツワブキ (*Ligularia tussilaginea*)

No.8

樹木の特徴に関する組合せとして、**適切でないもの**を下記から1つ選びなさい。

- ① 黄色に紅葉する . . . イタヤカエデ (*Acer pictum*)、
マンサク (*Hamamelis japonica*)
- ② 花に芳香がある . . . オガタマノキ (*Magnolia compressa*)、
クチナシ (*Gardenia jasminoides*)
- ③ 赤い実をつける . . . アメリカヤマボウシ (*Cornus florida*)、
ヒイラギナンテン (*Berberis japonica*)
- ④ 黄色い花が咲く . . . フサアカシア (*Acacia dealbata*)、
サンシュユ (*Cornus officinalis*)

No.9

日本が自生地 of 樹木として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① イチョウ (*Ginkgo biloba*)
- ② ハクモクレン (*Magnolia denudata*)
- ③ トチノキ (*Aesculus turbinata*)
- ④ メタセコイア (*Metasequoia glyptostroboides*)

No.10

次の樹種(A～D)を表わす漢字の組合せとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- A アセビ (*Pieris japonica*)
- B アジサイ (*Hydrangea macrophylla*)
- C サザンカ (*Camellia sasanqua*)
- D サルスベリ (*Lagerstroemia indica*)

- ① A：百日紅 B：紫陽花 C：山茶花 D：馬酔木
- ② A：馬酔木 B：山茶花 C：紫陽花 D：百日紅
- ③ A：馬酔木 B：紫陽花 C：山茶花 D：百日紅
- ④ A：紫陽花 B：馬酔木 C：百日紅 D：山茶花

No.11

屋上緑化における植栽の生育環境に関する対策として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 土壌厚の確保
- ② 支柱と風対策
- ③ 防水対策
- ④ 排水対策

No.12

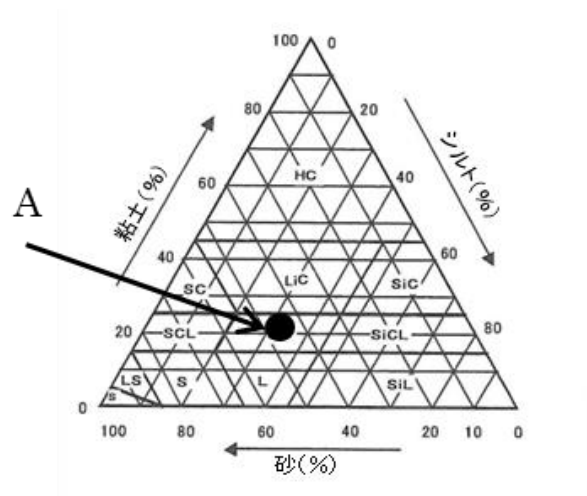
壁面緑化を行う場合の緑化タイプと植物の組合せとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 直接登はん型 . . . 耐寒マツバギク (*Delosperma cooperi*)
- ② 間接登はん型 . . . シバザクラ (*Phlox subulata*)
- ③ 壁面基盤型 . . . カロライナジャスミン (*Gelsemium sempervirens*)
- ④ 下垂型 . . . コトネアスター (*Cotoneaster horizontalis*)

No.13

図中Aの土性区分として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 砂土
- ② 壤土
- ③ 埴壤土
- ④ 重埴土



No.14

土壌改良材の種類と効果の組合せとして、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① ゼオライト . . . 保肥力の向上
- ② 黒曜石パーライト . . . 通気性、保肥性の向上
- ③ ピートモス . . . pH の矯正
- ④ バーク堆肥 . . . 保肥性、透水性の改良

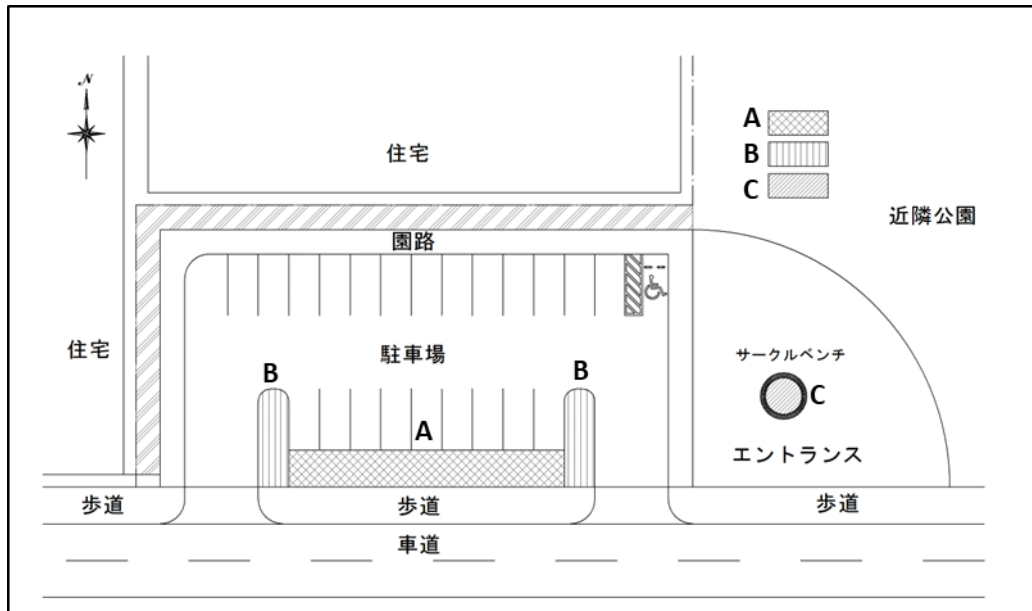
No.15

風除けを目的とした生垣に用いる樹種として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① ウメモドキ (*Ilex serrata*)
- ② ウバメガシ (*Quercus phillyraeoides*)
- ③ イヌツゲ (*Ilex crenata*)
- ④ ゲッケイジュ (*Laurus nobilis*)

No.16

図は近隣公園のエントランス部の植栽計画平面図である。以下の設問（No. 16～No. 18 まで）に答えなさい。



図中 A に、駐車場の遮蔽機能を持った植栽を行いたい。これに適した樹種として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① クロガネモチ (*Ilex rotunda*)
- ② マテバシイ (*Lithocarpus edulis*)
- ③ クヌギ (*Quercus acutissima*)
- ④ アラカシ (*Quercus glauca*)

No.17(No.16 図参照)

図中 B に、駐車場へ出入りする車からの見通しを確保するための地被植栽を行いたい。この場合、毎年、の植替えや追加播種の不要な植物として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① シバザクラ (*Phlox subulata*)
- ② マツバギク (*Lampranthus spectabilis*)
- ③ 宿根バーベナ (*Verbena rigida*)
- ④ カスミソウ (*Gypsophila elegans*)

No.18 (No.16 図参照)

図中 C に、エントランスにふさわしくシンボル性があり、花や紅葉が楽しめる樹木を植栽したい。これに適した樹種としてとして、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① タイサンボク (*Magnolia grandiflora*)
- ② イチョウ (*Ginkgo biloba*)
- ③ ナツツバキ (*Stewarti pseudocamellia*)
- ④ シラカシ (*Quercus myrsinifolia*)

No.19

日本庭園における「根締めの木」の説明として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 滝口付近に奥深く落ち着いた感じを出す役木
- ② 蹲踞に添える木
- ③ 垣根の留柱に添えて、垣根と同じくらいの高さに植える木
- ④ 高木や庭石の根もとに寄植えして用いる小低木や下草類

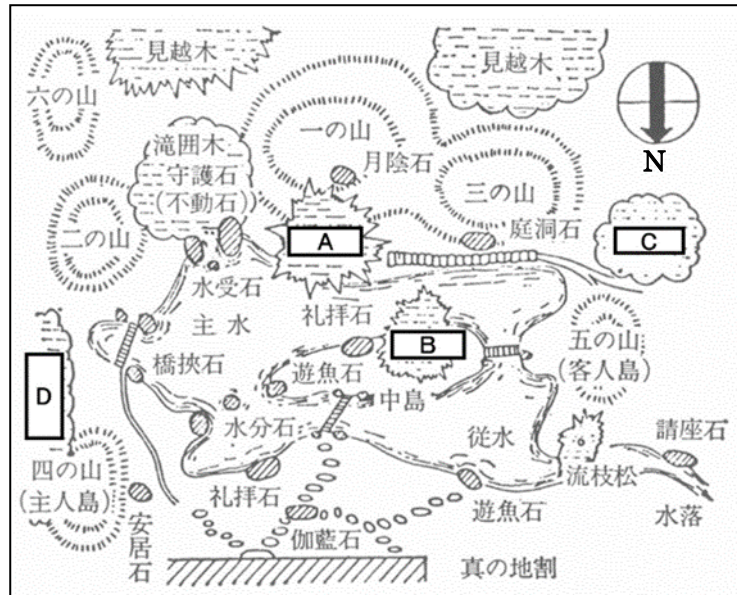
No.20

花壇に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 毛せん花壇は、地面より低く沈めた花壇である
- ② 寄植え花壇は、開花期の同じ草花を数種類寄せ集めて植え込んだ花壇である
- ③ 境栽花壇は、園路などの境界近くに列状につくられる花壇である
- ④ 擁壁花壇は、傾斜地を石組にし、その石垣の外観に植物を配する花壇である

No.21

江戸時代後期の作庭書「築山庭造伝後編」には役木として定型化した植栽の原則が示されている。図中の A～D に入る組合せとして、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。



- | | | | | |
|---|---------|---------|---------|---------|
| ① | A : 正真木 | B : 景養木 | C : 寂然木 | D : 夕陽木 |
| ② | A : 正真木 | B : 景養木 | C : 夕陽木 | D : 寂然木 |
| ③ | A : 景養木 | B : 正真木 | C : 寂然木 | D : 夕陽木 |
| ④ | A : 景養木 | B : 正真木 | C : 夕陽木 | D : 寂然木 |

No.22

樹高 6.0m、幹周 0.7m、枝張 2.5mのクスノキを、植栽する場合の樹木支柱として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 三脚鳥居
- ② 八つ掛 (丸太)
- ③ 二脚鳥居組合せ
- ④ 樹木地下支柱

No.23

マルチングを行う目的として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 土壌の乾燥防止
- ② 雑草の抑制
- ③ 地温調整
- ④ 土壌改良

No.24

本州（東京付近）における高木の移植時期に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 常緑広葉樹の移植を 3 月～4 月に行う
- ② 落葉樹の移植を 10 月～12 月に行う
- ③ 落葉樹の移植を 5 月～6 月に行う
- ④ 針葉樹の移植を 2 月～4 月に行う

No.25

根回しを説明する記述として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 根から生じた不定芽の株を親株から切断して、小株に分けて繁殖させること
- ② 葉張り外周線の地上投影部分に、溝を輪状に掘って肥料を敷き込み覆土すること
- ③ 根を切断しまたは剥皮し、その部位より細根の発生を促す処置のこと
- ④ 成長した親木の一部を台木に継ぎ合わせる増殖方法のこと

No.26

移植の容易な樹種として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① ネムノキ (*Albizia julibrissin*)
- ② カナメモチ (*Photinia glabra*)
- ③ トベラ (*Pittosporum tobira*)
- ④ サツキ (*Rhododendron indicum*)

No.27

1 ～ 2 m 前後の高茎草本を維持する草刈りの頻度として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 4 ～ 10 月の間に毎月 1 回
- ② 年に 3 ～ 5 回
- ③ 年に 1 ～ 2 回
- ④ 2 ～ 3 年に 1 回

No.28

花壇への施肥に関する以下の文章の (A)、(B) にあてはまる語句の組合せとして、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

草花を植付ける前、整地の際に施す肥料を (A) といい、堆肥などの (B) 肥料を主とする。

- ① A：追肥 B：遅効性
- ② A：追肥 B：速効性
- ③ A：元肥 B：遅効性
- ④ A：元肥 B：速効性

No.29

高木の剪定時期として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 常緑樹は葉の新芽が固まった 5 ～ 6 月頃と 9 ～ 10 月頃
- ② 春に花芽をつける花木は秋～春までの萌芽前
- ③ 落葉広葉樹は葉が固まりきる前の 4 ～ 6 月頃、落葉後の 11 ～ 3 月頃
- ④ 針葉樹は真冬以外の 10 ～ 11 月頃と春先

No.30

エドヒガン (*Cerasus itosakura*) の主な病気として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① ウドンコ病
- ② コウヤク病
- ③ サビ病
- ④ スス病

No.31

石材に関する記述として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 御影石は安山岩の一種であり、白・桜・錆などの色がある
- ② 鉄平石は磨くと美しい光沢が出るため、建築内装材に用いられる
- ③ 大理石は日本で多く産出され、特に耐火性に優れる
- ④ 大谷石は加工が容易で耐火性に優れる

No.32

石材表面のビシャン仕上に関する記述として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 岩石の表面に高熱を加え、粗面に仕上げる
- ② ノミ切り程度の表面を切子目のあるハンマーで叩いて、平滑に仕上げる
- ③ 砂を圧縮空気とともに吹付け、細かい凹凸を作って艶消しの模様に仕上げる
- ④ 鉄粉を圧縮空気とともに吹付け、表面を荒して仕上げる

No.33

石材加工の種類に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 雑割石 …… 面が正方形や長方形のもので、控えの 2 面がはつられているもの
- ② 割石 …… 形を決めずに自然石を割った後に磨き仕上げとしたもの
- ③ 野面石 …… この種類には玉石も含まれ、自然のままの石材のもの
- ④ 間知石 …… 四角錐体のわが国独自の石材で、控えの 4 面がはつられているもの

No.34

木材に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 外周部は白太と呼ばれ、キクイムシなどの虫の被害を受けやすい
- ② 内心部は赤身と呼ばれ、水分が少なく、強固で腐りにくい
- ③ 熱伝導率はコンクリートに比べ、はるかに少ない
- ④ 年輪の接線方向に切った面を柾目と呼ぶ

No.35

木材乾燥の目的として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 収縮や狂いの発生防止
- ② 耐久性や強度性能の向上
- ③ 加工性や塗装性の向上
- ④ 耐防火性の向上

No.36

コンクリートに関する記述として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① コンクリートの構成材料のうち、粗骨材を欠くものを無筋コンクリートという
- ② 耐久性は大きい、火災に対する抵抗力は小さい
- ③ 圧縮強度が小さく、ひび割れが生じやすいため、必要に応じて鉄筋を用いる
- ④ コンクリートの強度は、圧縮強度で表す

No.37

インターロッキングブロック舗装に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① ブロック直下はクッション材として荒目の砂を厚さ 20～30mm 程度敷設する
- ② 管理車両が通行する場所のインターロッキングブロックの標準厚さは 60mm である
- ③ スロープに敷設する場合は空練りモルタルで固定する
- ④ 施工及び補修が容易で、敷設後ただちに使用できる

No.38

アスファルトに関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① アスファルトの硬さは針入度で表され、柔らかいほど針入度が大きい
- ② わが国では主に天然アスファルトが使用されている
- ③ 舗装に使用するアスファルトの品質は 180℃まで加熱しても泡立ってはいけない
- ④ 常温では変質しにくく、防水性、耐酸性、耐アルカリ性の特性をもっている

No.39

自然観賞型（バードウォッチング、植物観察など）の公園計画に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 観察小屋は自然素材でカモフラージュして、なるべく野鳥営巣地の近くに設ける
- ② 湿生植物を間近に観察できるようにボードウォークを設ける
- ③ 散策路は周遊できるように配置して、散策路沿いの木陰にベンチを設ける
- ④ 駐車場は観察施設に隣接させないで、離れた所に配置する

No.40

防災公園の設計に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 避難広場は、必要な部分以外は土や芝生などできるだけ柔らかな舗装とする
- ② 防火樹林帯には防火力の高い針葉樹のスギやマツなどを植栽する
- ③ 公園外周部の法面は緩くおさえ、構造物はできるだけ低く、耐震性を考慮する
- ④ ヘリポートは堅固な地盤に設置し、植栽や建築物との位置関係に留意する

No.41

勾配が 1 : 2 程度の敷地の利用として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 座るなどの休憩広場
- ② 芝生を利用した草そり場
- ③ 広く舗装したイベント場
- ④ ゲートボールを含めたスポーツ利用

No.42

都市公園に設置するスロープ（傾斜路）に関する記述として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 有効幅は 100cm 以上とし、ただし階段併設の場合は 90cm でもよい
- ② 縦断勾配は 10%以下とし、横断勾配は 1 %以下とする
- ③ 原則として両側に立ち上がり部または手すりのいずれかを設ける
- ④ 高さ 75cm 以内ごとに踏幅 150cm 以上の水平部分を設ける

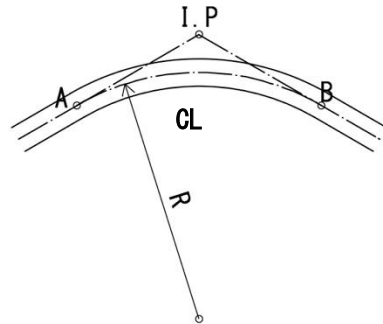
No.43

自然公園の歩道の計画・設計の考え方として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 自然環境への影響や処理コストなどを考慮し、極力自然素材を使用する
- ② 目的地に最短距離で到達できるよう計画する
- ③ ありのままの自然を体験できるよう配慮した必要最小限の整備とする
- ④ 迷い込みによる遭難防止のため、原則として支線、枝線となるルートは設けない

No.44

下図は園路設計の割付寸法図である。
 曲率半径 $R=36\text{m}$ 、交角 $I=60^\circ$ としたとき、
 A B間の曲線長 CL の値として、
適切なものを下記より 1 つ選びなさい。
 (ただし、円周率 $\pi = 3$ として計算)



- ① 72m
- ② 54m
- ③ 36m
- ④ 18m

No.45

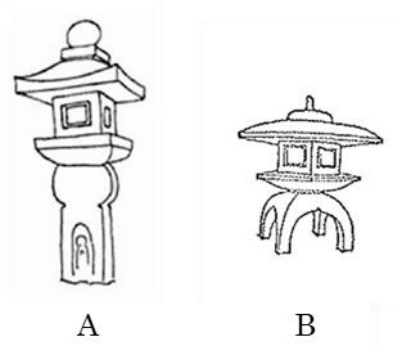
透水性舗装及び保水性舗装に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 透水性舗装の導入は、温熱環境を緩和する効果がある
- ② 保水性舗装は水を浸透させないで舗装面に保水する構造である
- ③ 保水性舗装はヒートアイランド現象の緩和効果が期待できる
- ④ 透水性舗装、保水性舗装のいずれも塵埃や蘚苔類の付着で、その性能が低下する

No.46

図に示す灯籠の名称の組合せとして、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① A：春日灯籠 B：織部灯籠
- ② A：織部灯籠 B：雪見灯籠
- ③ A：織部灯籠 B：春日灯籠
- ④ A：雪見灯籠 B：春日灯籠



No.47

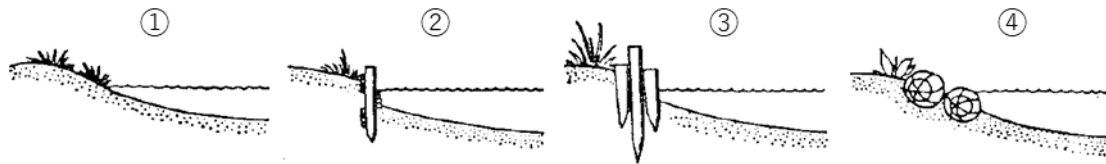
石積みとその名称の組合せとして、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。



- ① 崩れ積
- ② 玉石積
- ③ 間知石積(谷積み)
- ④ 小端積

No.48

図に示す水辺の土留め工法のうち、「しがらみ」を示すものとして、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。



No.49

図に示す竹垣の名称の組合せとして、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい



- | | |
|------------|----------|
| ① A : 光悦寺垣 | B : 御簾垣 |
| ② A : 竜安寺垣 | B : 建仁寺垣 |
| ③ A : 金閣寺垣 | B : 光悦寺垣 |
| ④ A : 四つ目垣 | B : 銀閣寺垣 |

No.50

都市公園に設置するベンチと野外卓に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① ベンチの腰掛け板の高さは 40～45cm とする
- ② 車椅子のまま席につけるように野外卓の下部にスペースを確保する
- ③ ベンチ、野外卓の周辺には、車椅子使用者の滞在を考慮して 120cm×120cm 以上の水平面を確保する
- ④ 杖利用者等の休憩を考慮して、通常より高いベンチを設置することも有効である

No.51

都市公園に設置する休憩所に関する記述として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 休憩所内の舗装は、平坦で固くしまっていて、滑りにくい舗装とする
- ② 休憩所の配置は、ゆったりと休憩できるよう、動線から離れた位置に設置する
- ③ 休憩所の出入口の有効幅は、車椅子使用者とすれ違えるよう、100cm 以上とする
- ④ すべての休憩所について、都市公園移動等円滑化基準に適合させる必要がある

No.52

遊具の安全領域に関する記述として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 安全領域の範囲は遊具のタイプごとに中心からの距離で決められている
- ② 安全領域とは落下の際の衝撃を和らげるべき範囲のことである
- ③ 複数の遊具の安全領域は重複してもよい範囲がある
- ④ 遊具の安全領域内は保護マットの敷設が義務付けられている

No.53

子どもの遊びの安全性に関する以下の文章の（A）～（D）に該当する語句の組合せとして、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

事故の回避能力を育てる危険性あるいは子どもが（A）な危険性である（B）と、事故につながる危険性または子どもが（C）な危険性である（D）とに区分するものとする。

- ① A：判断不可能 B：ハザード C：判断可能 D：リスク
- ② A：判断可能 B：ハザード C：判断不可能 D：リスク
- ③ A：判断不可能 B：リスク C：判断可能 D：ハザード
- ④ A：判断可能 B：リスク C：判断不可能 D：ハザード

No.54

運動施設の表面排水に関する記述として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① テニスコートはコート中央を頂点とし、長軸方向に向かって勾配をとる
- ② 野球場はピッチャーズマウンドを中心として外周に向かって勾配をとる
- ③ ゲートボール場は短軸方向に5%の横断勾配をとる
- ④ サッカー場では2%以上の横断勾配をつける

No.55

運動施設の配置に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 陸上競技場の長軸は、南北または北北西から南南東方向とすることが望ましい
- ② テニスコートの長軸は、南北を基準に若干北西～南東に振ることが望ましい
- ③ サッカー場の長軸は、土地の恒常風向と直交させることが望ましい
- ④ 野球場は、観客を主体とする場合には本塁を北側に配置することが望ましい

No.56

運動施設の舗装に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 芝生舗装は踏圧、通気性、保水性、排水性を考慮する
- ② 樹脂系舗装は、天候にほとんど影響されず競技を行うことができる
- ③ アンツーカー舗装は、含水比が高くなると軟弱になりやすい
- ④ クレイ舗装は水はけがよく、降雨後の乾燥が比較的早い

No.57

プールに関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 給水水質は水道協会及び厚生労働省衛生検査指針の水質に適合しなければならない
- ② 循環浄化装置には、砂式・珪藻土式・カートリッジ式などの種類がある
- ③ プール本体の材質は、ほとんどが鉄筋コンクリート製である
- ④ プール用水の循環浄化法は、濾過と滅菌の 2 種類の機能で構成される

No.58

都市公園に設置する水飲みに関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 車椅子使用者が利用しやすいように下部に高さ 65cm 以上、奥行き 45cm 以上のスペースを確保する
- ② 給水栓はレバー式、押しボタン式などの使いやすいものとする
- ③ 床面は段差を無くし、水はけを良くするために勾配を設ける
- ④ 幼児の利用のために、車椅子使用者の支障のないところに踏み台を設ける

No.59

都市公園に設置するトイレに関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 便所内に腰掛便座を 1 以上設置した上、その便所の便器周辺には手すりを設置する
- ② 便所内には、杖や傘などを立てかけられるフックや手荷物棚などを設置する
- ③ 手すりを設置した小便器は、他の利用者の妨げとならないように奥の壁際に配置する
- ④ 子どもの利用が特に多い公園では、幼児用便器・幼児用便座の設置を検討する

No.60

都市公園に設置する車椅子利用者用駐車施設に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 駐車施設は、移動等円滑化園路に最も近い位置に設置する
- ② 駐車施設の後部には幅員 90cm の通路を設ける
- ③ 駐車施設の幅は 350cm 以上とする
- ④ 駐車施設と通路の間には段差を設けない

No.61

転落防止柵の標準高として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 0.8m
- ② 1.1m
- ③ 1.5m
- ④ 1.8m

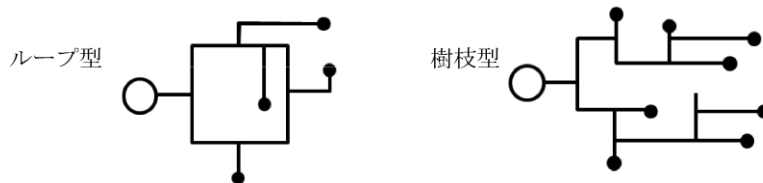
No.62

ピクトグラム（ピクトグラフ）と名称の組合せとして、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ①  . . . オストメイト
- ②  . . . 障害のある人が使える設備
- ③  . . . 飲料水
- ④  . . . 広域避難場所

No.63

給水系統に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

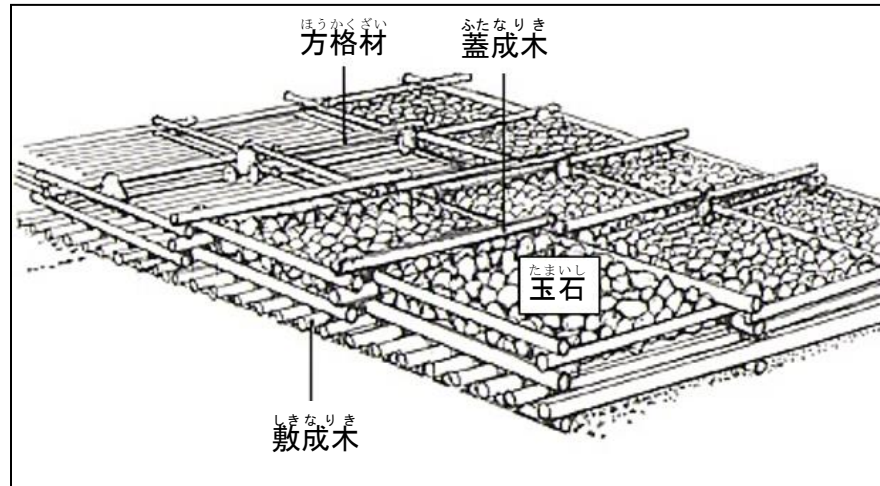


- ① ループ型は水圧を一定に保ちやすい
- ② ループ型は水理計算が複雑である
- ③ 樹枝型は事故が生じても断水区域を最小限に留めることができる
- ④ 樹枝型は大面積の計画には不向きである

No.64

図に示す伝統的河川工法の名称として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

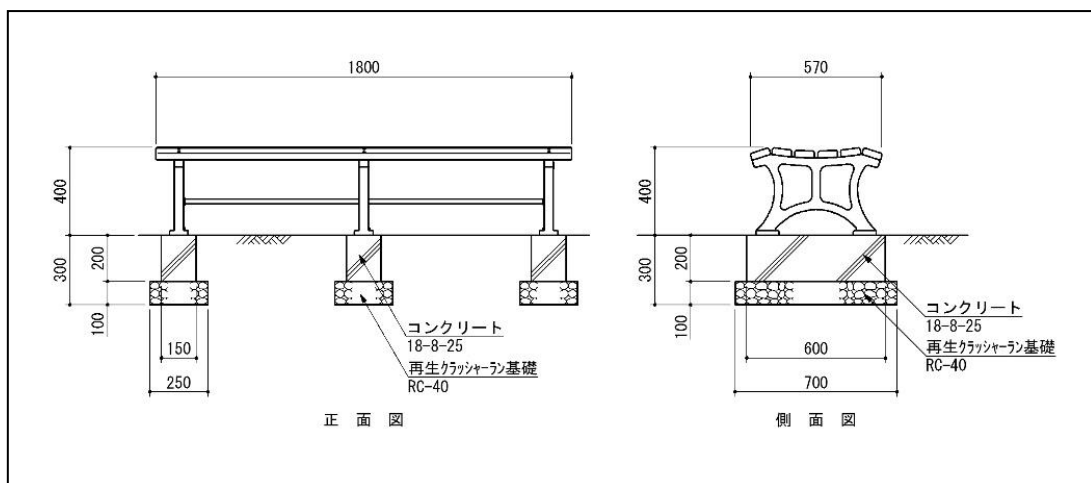
- ① 詰杭工
- ② 枠工
- ③ 蛇籠工
- ④ 木工沈床



No.65

図に示すベンチを設置するために必要な型枠の数量として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 0.45 m²
- ② 0.60 m²
- ③ 0.90 m²
- ④ 1.35 m²



No.66

環境保全に配慮した造成に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① できる限り既存樹木を保全し活用することが望ましい
- ② 表土は植栽基盤となる可能性が低いため、取り除くことが望ましい
- ③ 地形、地質など自然的特性を活かして造成することが必要である
- ④ 敷地に最も適した切盛土方法を実施する必要がある

No.67

造成土量を算出する計算方法として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 平均断面法
- ② 試行くさび法
- ③ 点高法（4 点平均法）
- ④ 等高線法

No.68

砂質土の造成における作業内容と建設機械の組合せとして、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 掘削、積込み ・ ・ ・ バックホウ、トラクタショベル
- ② 運搬 ・ ・ ・ ダンプトラック、ブルドーザ
- ③ 敷均し、整地 ・ ・ ・ ロードローラ、ブルドーザ
- ④ 締固め ・ ・ ・ 振動ローラ、ブルドーザ

No.69

土質の粒径区分の小さい順番として、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 砂 < シルト < 礫 < 粘土
- ② 礫 < 砂 < シルト < 粘土
- ③ 粘土 < 砂 < シルト < 礫
- ④ 粘土 < シルト < 砂 < 礫

No.70

地盤の支持力を判定する試験として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 平板載荷試験
- ② 標準貫入試験
- ③ スウェーデン式サウンディング試験
- ④ 長谷川式土壌貫入試験

No.71

密実な砂質土の切土と砂質土による盛土において、一般的な切土高・盛土高と法面勾配の組合せとして、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 切土高 5 m 以下 . . . 勾配 1 : 0.8 ~ 1 : 1.0
- ② 切土高 5 m ~ 10m . . . 勾配 1 : 0.8 ~ 1 : 1.2
- ③ 盛土高 5 m 以下 . . . 勾配 1 : 1.5 ~ 1 : 1.8
- ④ 盛土高 5 m ~ 10m . . . 勾配 1 : 1.8 ~ 1 : 2.0

No.72

のり面緑化工に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 張芝工は、浸食防止、凍上崩落抑制、早期全面被覆を目的とする
- ② 筋芝工は、切土で芝の筋状張りつけにより浸食を防止する
- ③ 植生筋工は、盛土で植生を筋状に成立させて浸食を防止する
- ④ 苗木設置吹付工は、樹木の生育による良好な景観の形成を目的とする

No.73

1 : 1.5 の勾配ののり面に植栽可能な植物の組合せとして、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 地被
- ② 地被＋低木
- ③ 地被＋低木＋中木
- ④ 地被＋低木＋中木＋高木

No.74

雨水排水施設の計画に関する記述として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 排水区域の検討では上流側の流入区域に考慮し、造成による地形変化にも配慮する
- ② 排水系統の検討では、排水区域、排水方法、地形、既設排水施設などを考慮する
- ③ 排水は、速やかに下水道や河川に放流する方法を選択する
- ④ 排水量の算定では合理式などを用いて最大雨水流出量を算定する

No.75

雨水排水量の算定に使用する合理式として、**適切なもの**を下記より1つ選びなさい。

Q =雨水流出量 (m^3/sec)、 c =流出係数、 i =降雨強度 (mm/h)、 A =流域面積 (ha)、

n =粗度係数

- ① $Q = 360 \cdot n \cdot i \cdot A$
- ② $Q = 1/360 \cdot n \cdot i \cdot A$
- ③ $Q = 360 \cdot c \cdot i \cdot A$
- ④ $Q = 1/360 \cdot c \cdot i \cdot A$

No.76

管渠の設計における雨水管の流速及び勾配に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 勾配は地表面の勾配に応じて定めると経済的である
- ② 流速が小さいと排水管内に土砂が堆積し、詰まりの原因となる
- ③ 流速は最少 0.5m/sec を原則とする
- ④ 排水管の断面を大きくすれば、勾配を緩くしても流速を大きくすることができる

No.77

側溝の種類に関する記述として、**適切でないもの**を下記より1つ選びなさい。

- ① 芝張り側溝の形状は底の深い曲面とするのが一般的である
- ② 現場打ちコンクリート U 形側溝は形状断面を自由に設定できる
- ③ 素掘り側溝は洗堀の恐れのあるところでは使用しない
- ④ L 形側溝は輪荷重負荷による破損を防ぐ必要がある

No.78

排水施設に関する以下の文章の（A）～（C）に該当する語句の組合せとして、**適切なもの**を下記より 1 つ選びなさい。

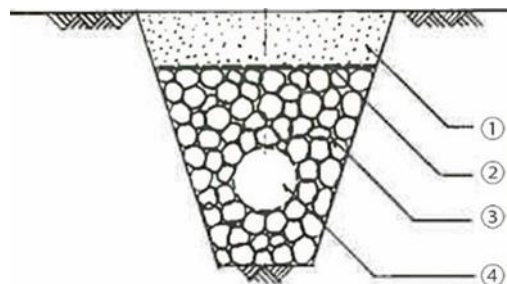
雨水集水桝に接続する管底高は、流入口より流出口を（A）程度低く設定し、流出口は桝底から（B）以上高く設置し泥溜めを設ける。また、流入管と流出管の角度は（C）以上が望ましい。

- ① A : 10mm B : 100mm C : 90°
- ② A : 10mm B : 150mm C : 120°
- ③ A : 20mm B : 100mm C : 120°
- ④ A : 20mm B : 150mm C : 90°

No.79

地下排水透水管の標準的な断面図に示す材料の名称として、**適切でないもの**を下記のより 1 つ選びなさい。

- ① 砂
- ② 遮水シート
- ③ 透水材
- ④ 透水管



No.80

雨水流出抑制に効果がある一般的な浸透施設として、**適切でないもの**を下記より 1 つ選びなさい。

- ① 浸透側溝
- ② グラウンド
- ③ 空隙貯留浸透施設
- ④ 透水性舗装